

特集 「編集委員今年の抱負 2011」



めざせ！ いきいき研究室

山本 祐輔 京都大学大学院情報科学研究科

まえがき

気づけば大学卒業（予定）まであと3か月を切ってしまった！ 大学での研究室生活に終わりが見えてきたところで、私が研究室で行ってきたことを振り返ってみた。研究、サイエンスカフェ、音楽活動…いろいろなことに取り組んできたが、（研究の次に）意識的に取り組んできたのが研究室外のメンバと一緒にやってきた「研究室のいきいき化」活動であった。そして、これこそが研究室を去るにあたっての最大の気掛りでもあるのだ。

学生のベクトルと教員のベクトルのずれ

大学に入学する学生の多くは、学年を重ねるごとに勉強意欲が就職意欲にシフトし始める。研究室に配属され人生初の研究活動をする頃には、目の前に迫った就職を非常に意識するようになる。志望している就職業界が研究内容に関係ない場合には余計に研究室での研究活動に関心が薄れてしまう。ときに「研究しなさい！」と迫ってくる教員に嫌悪感すら抱くようになる、という経験をする（したことがある）学生も結構いるのではなかろうか。

大学生の全員が研究者になろうと思っているわけではない。それゆえ、学生が就職活動に精を出すことは理解できるし、自分の人生のために積極的にがんばるべきだと思う。ただ私が残念なのは、研究室での研究活動に無関心なために、社会人デビューする前の最後の砦である研究室生活をむだにして（ときには嫌な思い出だけが残して）終えていくことである。これではあまりに学生は損ではないか！ やり方によっては研究の道に進むか進まないかにかかわらず、大学研究室から何かを学び得ることできると思うのだ。このような学生の存在は、教員方にとっても損になっているとも思っている。

いろいろな大学研究室の学生、先生方に話を聞いてみると、（私の所属している研究室にこういう学生が多いというわけではないが）研究活動を通じて学生と教員が互いに損をしていることが多い。このような状況を何とかしたいと思い、私は修士時代より大学内外のメンバとともに大学研究室運営ワーキンググループを立ち上げ「いきいき研究室増産プロジェクト*1（以下、いきいきP）」に取り組んできた。

Win-Winの関係を築く

いきいきPではこれまで大学研究室インタビューや調査を行ってきた。その成果の一つとして、学生に研究成果を求めることとコミュニケーション能力の向上にはポ

ジティブな相関があり、一方で学生の満足度との間にはネガティブな相関がある、ということがわかっている*2。このことから、例えば就職活動をがんばりたいと思っている学生には「研究を通じて社会人基礎力を鍛える」というように、学生の理想と研究活動をうまく結びつけてあげることが学生が研究活動に励んでもらうベストな方法だということが考えられる。

研究者になりたいと思っている学生に対しては、教員は「背中を見て学べ」というスタンスで接してもOKだと思う。しかし、すべての学生が研究者になりたいわけではない。就職活動をがんばりたい、学生生活を楽しみたいと思っている学生など多様である。教員側からすると、研究者希望でない学生に労力を割いて指導することはモチベーションの上からいっていいことかもしれない。しかし、就職活動をがんばりたい学生には「就職活動を成功するためにも研究で論理的思考やプレゼンテーション能力を高めよう」、海外旅行をエンジョイしたい学生には「論文を書いて海外に行ってみよう」というように、研究者志望でない学生に対しても学生の本来のモチベーションに研究活動を絡めることも可能だと思うのだ。

重要なことは学生と教員がお互いに望むことを理解し合いWin-Winの関係を築くことだと思う。学生を研究に向かわせるために、「論文を書けば海外に行けるヨ」とか「奨学金が免除になるヨ」というセリフを使うのは必ずしも正解というわけではないのだ。学生・教員間にWin-Win関係を築くことが、学生にとっては“いきいき”研究室生活を送るコツであり、教員にとっては研究活動を加速させ、あわよくば研究者になりたいと思う学生を増やす近道なのではないかと私は信じている。

残された時間はわずか！

これまで6年間、研究と並行して研究室のいきいき化活動を学生の立場から私なりに密に行ってきた。しかし、特に学年の若い学生とは接する時間が短かったために、彼らにはポジティブに研究に取り組むことのメリット、重要性を伝えきれていない。これが私の気掛りである。大学卒業時に「しんどかったけど研究しているいろいろ良かった」とちょっとでも思ってもらえるように、残りわずかな時間で研究室の学生に「いきいき研究生活のススメ」を伝えていきたい。

*1 いきいき研究室増産プロジェクト, <http://ikiiki-lab.org/>

*2 北村 智, 岡本絵莉: 工学系大学院の研究室教育における学生の満足度および成長の自己評価と研究業績の関係, 日本教育工学会論文誌, Vol. 34, No. 2, pp. 95-103 (2010)